

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S702130	池本喜代正	特別支援教育概論	障害とは何か、その概念について考察を加え、障害児教育がどのような変遷してきたかを学び、今日の特別ニーズ教育の国際的動向について学ぶ。そして我が国の特別支援教育の制度・課題について考察する。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育の入門的な概論である。特別支援教育に関する関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・ICF(国際的生活機能分類)による障害の捉え方について、理解する。 ・障害児の教育がどのように生じ、発展してきたか、障害児教育史に関する知識を獲得する。 ・今日の我が国における特別支援教育制度や教育の現状についての基礎的な知識を獲得する。	0.5	0.4	0.0	0.0	0.1
S702110	佐久間宏	知的障害児心理・生理・病理	知的障害児の心理・生理・病理を概説すると共に、その実態把握の方法を明らかにする。	特別支援学校教員免許状を取得するための必修科目であり、とくに知的障害児の心理特性を理解する入門編である。	知的障害児の心理特性を理解し、個々に応じた支援のあり方を学ぶ。	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
S702180	池本喜代正	知的障害児教育課程論	知的障害児の心理的特徴をおさえ、知的障害特別支援学校における教育課程について学習する。特に教科・領域を合わせた指導である生活単元学習、日常生活の指導、作業学習などや独自の領域である自立活動について基礎的な知識の獲得を目指す。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育における知的障害児教育の独自の教育課程について基礎的な知識の獲得を目指す。知的障害のある児童生徒の教育について関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・知的障害児教育について基礎的な知識を獲得する。 ・知的障害特別支援学校における教育課程の独自性について理解をし、各指導形態の特徴について学ぶ。 ・知的障害児に対する教育について関心を持ち、教育の在り方について考える機会とする。	0.5	0.3	0.1	0.0	0.1
S702190	岡澤 慎一	肢体不自由児心理学	肢体不自由といわれる人への教育的対応に関して、心理学的な視点から具体的に考えることができるようになるための基盤を築く。	特別支援学校教員免許状を取得するための必修科目であり、肢体不自由教育に関する入門編としての意義を持つ。	・肢体不自由といわれる人への教育的対応に関して、心理学的な視点から自分の考えを具体的に述べる事ができる ・肢体不自由がある子どもの音声言語以外の様々な“ことば”を受信できる	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2
S702140	池本喜代正	肢体不自由児教育概論	肢体不自由の原因、特徴。特性について学ぶ。肢体不自由児教育の教育課程・教育内容について学習する。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育における肢体不自由児教育の入門的な概論である。肢体不自由のある児童生徒の教育について関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・肢体不自由の病因について基礎的な知識を獲得する。 ・肢体不自由特別支援学校における教育課程や教育内容の特徴について学ぶ。 ・肢体不自由児に対する教育について関心を持ち、教育の在り方について考える機会とする。	0.5	0.3	0.1	0.0	0.1
S702150	岡澤 慎一	病弱児生理学	障害がある人、とくに病弱といわれる人との係わり合いをもつにあたって、知っておいた方がよいと思われる生理学的知見に関する理解を深める。	特別支援学校教員免許状を取得するための必修科目であり、病弱教育に関する入門編としての意義を持つ。	障害がある人に関する基本的な生理学的知見を説明できる。	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2
S702170	池本喜代正	病弱児教育概論	病弱教育の対象の変遷と今日の病弱教育対象児の特徴について学ぶ。病弱児教育の教育課程・教育内容について学習する。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育における病弱児教育の入門的な概論である。病弱の児童生徒の教育について関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・病弱児教育について基礎的な知識を獲得する。 ・病弱特別支援学校における教育課程や教育内容の特徴について学ぶ。 ・病弱児に対する教育について関心を持ち、教育の在り方について考える機会とする。	0.5	0.3	0.1	0.0	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S702120	佐久間宏	知的障害児心理学特論	知的障害児の心理及び実態把握に基づいて、教育・福祉・労働・医療の分野において、いかなる対応が求められるかを具体事例を通して実証的に明らかにする。	特別支援学校教員免許取得のための選択必修科目であり、知的障害児支援の応用編である。	知的障害児支援スキルを具体事例を通して学ぶ。	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1
S702160	梅永 雄二	知的障害児指導法	知的障害児および知的障害を伴う自閉症児の指導について、現在世界最先端と言われているTEACCHプログラムに基づいてアセスメント、コミュニケーション、構造化といった観点から指導技法を学習する。	特別支援学校に数多く在籍する知的障害を伴う最先端の自閉症の指導技法を学習することは、障害のある子どもたちの自立につながるため大きな意義を持つものと考ええる。	自閉症指導の世界最先端といわれているTEACCHプログラムにおける構造化の指導技法をマスターすることを目的とする。	0.6	0.2	0.0	0.1	0.0
S702240	佐久間宏	知的障害児自立支援論	特別支援学校及び知的障害者更生施設における自立支援の具体的方法論を検討する。	特別支援学校教員免許取得のための選択必修科目であり、知的障害児支援の実践編である。	特別支援学校及び知的障害者更生施設における自立支援スキルを学ぶ。	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2
S710000	石川 由美子	障害児療育論	「療育」という言葉を広辞苑で引くと、障害のある児童のために行う医療と保育・養育と定義づけられている。さらに「療」は、癒し、病気を治すこととある。「育」は、成長させる、教え導く、また、おだてるなどという意味もある。この言葉の意味を考えるだけでも障害をもつ子どもを療育するとはそう簡単ではないということがわかるだろう。対象(障害をもつ子ども)が現在、どのような発達支援のニーズがあるのかをアセスメントし、それに基づいた具体的な支援をプログラムし、実践する。そのプロセスが仮に上手く機能したという客観的な評価が出来たととしても、それが療育の最終目標ではない。療育を通して、対象が生活の中で主体性を発揮して生きている、生きがいをもって今を生きている、それこそが重要となる。その対象の姿を見失うことなく寄り添える援助者として何が必要なのかを受講者とともに考えていく。	特別支援教育専攻の選択専門科目の一つとして、特別支援学校教員に必要な障害児療育の基礎知識を授け、この分野への幅広い興味関心を喚起する。	・対象(障害をもつ子ども)が現在、どのような発達支援のニーズがあるのかをアセスメントし、それに基づいた具体的な支援をプログラムし、実践することができる ・療育を通して、対象が生活の中で主体性を発揮して生きている、生きがいをもって今を生きている、それこそが重要となる。その対象の姿を見失うことなく寄り添える援助者として何が必要なのかを考え、自分の意見を述べる ことができる	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1
S702210	佐島 毅	視覚障害児教育概論	以下の事項について解説する。 1 盲児の触覚と学習 2 弱視児の視覚知と学習 3 視覚障害の定義と教育の場 4 盲児の指導 5 弱視児の指導 6 重複障害児の指導 7 視覚障害教育の基礎基本	特別支援学校教員免許を取得するための必修科目であり、視覚教育に関する入門編としての意義を持つ。	視覚障害、すなわち見えない、見えにくいことによる心理学的特性の基礎を理解した上で、視覚障害児の発達的特徴、指導法の基本について理解する。	0.5	0.2	0.2	0.1	0.0

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S702200	石原 保志	聴覚障害児教育概論	手話、補聴器試用、発音指導などの実技、体験を取り入れながら、聴覚障害児指導における実践的な内容を教授する。	特別支援学校教員免許を取得するための必修科目であり、聴覚教育に関する入門編としての意義を持つ。	聴覚障害児の発達の特徴を捉え、特別支援教育の中で扱うべき指導事項とその内容および方法について理解すること、また聴覚障害者の就労の現状と課題および社会生活に関わる福祉、医療、法律について知ることを目標とする。	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
S702220	岡澤 慎一	重複障害児教育概論	重複障害、重度重複障害および重症心身障害といわれる人への教育的対応において重要になる視点に関して理解を深める。	特別支援学校教員免許を取得するための必修科目であり、肢体不自由児心理学、病弱児心理学の履修を前提とした応用編としての意義を持つ。	・重複障害、重度重複障害および重症心身障害といわれる人への教育的対応において重要になる視点に関して自分の考えを述べることができる。 ・重複障害がある子どもの音声言語以外の様々な“ことば”を受信できる	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
S702230	梅永 雄二	発達障害児教育概論	現在一般の小学校・中学校に知的に障害を伴わない高機能自閉症、アスペルガー症候群、LD、ADHDが約6.3%存在します。よって、彼らの障害特徴と一般の学級における指導技法を学習することは極めて必要だと考える。	特別支援教育が盲・聾・養護学校から一般の小・中学校へ広がったため、発達障害の学習することは、彼らの自立につながるため大きな意義を持つものと考ええる。	一般の小・中学校に在籍する知的に高い発達障害児の特徴と指導技法を学習することを目標とする。	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
S716008	池本喜代正	障害児教育学演習Ⅰ	障害児教育に関する歴史的に重要な図書・原典を読み、特別支援教育の先達の思想や教育観について学ぶ。また、その思想の背景にある歴史的な社会背景・教育事情について理解を深める。	特別支援教育学における教育思想、教育制度についての知識の獲得とともに、論理的な思考の仕方について学習する。知的障害児教育の体験を踏まえて、特別支援教育指導者としての思想・考え方の獲得を目指す。	・障害児教育の先達の思想について学び、その先駆性と限界性について歴史的に考察できるようにする。 ・特別支援教育学における自己の問題意識を深め、問題探求の基礎的力を獲得させる。 ・特別支援教育の実践について学び、特別支援教育教師としての資質・知識の獲得をする。	0.2	0.4	0.1	0.1	0.2
S717004	池本喜代正	障害児教育学演習Ⅱ	特別支援教育学における教育制度・教育史・教育方法などの各自の問題意識に基づいた論文を購読し、その論理性、構成などについて考察し、今日における問題の所在について考察する。	特別支援教育学における教育思想、教育制度についての知識の獲得とともに、論理的な思考の仕方について学習する。知的障害児教育の体験を踏まえて、特別支援教育指導者としての思想・考え方の獲得を目指す。論文の書き方について実践的に学ぶ。	・特別支援教育の今日的課題について研究論文購読することによって考察をする。論文執筆に関する知識を得るとともに論文構成や論理性、実証性について実践的に学ぶ。 ・専門性のある特別支援教育教師としての資質・知識の獲得をする。	0.2	0.4	0.1	0.1	0.2
S719104	佐久間宏	障害児心理学演習AⅠ	卒論作成のために、各自の問題意識に基づいて先行研究の検討とその結果を発表する。	特別支援学校教員免許取得のための選択必修科目であり、先行研究の到達点と課題を明らかにする。	障害者が抱える諸課題を理解し、最終的には卒業論文としてまとめる。	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1
S719282	佐久間宏	障害児心理学演習AⅡ	卒論作成のために、各自の問題意識に基づいて先行研究の検討とその結果を発表する。	特別支援学校教員免許取得のための選択必修科目であり、先行研究の到達点と課題を明らかにする。	障害者が抱える諸課題を理解し、最終的には卒業論文としてまとめる。	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S719315	梅永 雄二	障害児心理学演習 B I	知的に重い自閉症幼児に実際に関わることを目的とする。	知的障害を伴う自閉症の指導技法について、直接自閉症児と関わりながら学習することは、特別支援教育における実践教育として大きな意義を持つものとする。	自閉症児に何故「構造化」といった支援が必要なのかを自ら自閉症幼児に関わることによって体験し、具体的指導技法を学習することを目標とする。	0.5	0.2	0.2	0.1	0.0
S719437	梅永 雄二	障害児心理学演習 B II	障害児心理学演習B1と同じである。	知的障害を伴う自閉症の指導技法について、直接自閉症児と関わりながら学習することは、特別支援教育における実践教育として大きな意義を持つものとする。	障害児心理学演習B1と同じである。	0.5	0.2	0.2	0.1	0.0
S719560	岡澤 慎一	障害児心理学演習 C I	言語やコミュニケーション、各種障害がある人との事例研究や実践研究に関する文献あるいは教育実践報告の吟味および種々の障害疑似体験を行なう。そのなかで、受講学生各々が自身の教育観や障害観、科学観などを吟味し、障害がある人への教育的対応において必要となる視点や方法論などについて自分自身の考えを構築し、深めることを目標とする。また、研究を進めていく上で必要となる種々の機材の使い方や記述記録のとり方などについても演習する。 また、受講学生の希望に応じて、特別支援学校や特別支援学級、施設や病院、教育相談場面などの見学やそうした場での実践研究を行なうことも可能である。受講学生の主体的な参加を期待する。	特別支援教育専攻の選択専門科目の一つとして、特別支援学校教員に必要な資質の開発について演習形式で行う。	自身の教育観や障害観、科学観などを吟味し、障害がある人への教育的対応において必要となる視点や方法論などについて自分自身の考えを述べることができる。	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
S719693	岡澤 慎一	障害児心理学演習 C II	言語やコミュニケーション、各種障害がある人との事例研究や実践研究に関する文献あるいは教育実践報告の吟味および種々の障害疑似体験を行なう。そのなかで、受講学生各々が自身の教育観や障害観、科学観などを吟味し、障害がある人への教育的対応において必要となる視点や方法論などについて自分自身の考えを構築し、深めることを目標とする。また、研究を進めていく上で必要となる種々の機材の使い方や記述記録のとり方などについても演習する。 また、受講学生の希望に応じて、特別支援学校や特別支援学級、施設や病院、教育相談場面などの見学やそうした場での実践研究を行なうことも可能である。受講学生の主体的な参加を期待する。 なお、本演習は、「障害児心理学演習 C I」と内容的に連続するものであり、続けて受講すること。	特別支援教育専攻の選択専門科目の一つとして、特別支援学校教員に必要な資質の開発について演習形式で行う。	自身の教育観や障害観、科学観などを吟味し、障害がある人への教育的対応において必要となる視点や方法論などについて自分自身の考えを述べることができる。	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S720005	未定	障害児教育方法学演習Ⅰ	本授業では、障害児教育学のうち障害児教育方法学に関する問題群から、特に知的障害障害乳幼児の発達支援に関して、先行研究の講読・批判検討及び研究方法論の検討を行いながら、乳幼児期を対象とする障害児教育方法学の動向及び研究方法を理解する。また、障害児の発達支援について、事例を通して、具体的、実践的に学ぶ。	特別支援教育専攻の選択専門科目の一つとして、特別支援学校教員に必要な資質の開発について演習形式で行う。	特に知的障害障害乳幼児の発達支援に関して、乳幼児期を対象とする障害児教育方法学の動向及び研究方法について基礎的知見を説明することができる。	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
S721001	未定	障害児教育方法学演習Ⅱ	本授業では、障害児教育学のうち障害児教育方法学に関する問題群から、特に知的障害障害乳幼児の発達支援に関して、先行研究の講読・批判検討及び研究方法論の検討を行いながら、乳幼児期を対象とする障害児教育方法学の動向及び研究方法を理解する。また、障害児の発達支援について、事例を通して、具体的、実践的に学ぶ。	特別支援教育専攻の選択専門科目の一つとして、特別支援学校教員に必要な資質の開発について演習形式で行う。	特に知的障害障害乳幼児の発達支援に関して、乳幼児期を対象とする障害児教育方法学の動向及び研究方法について基礎的知見を説明することができる。	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
S723010	佐久間宏・池本喜代正・梅永雄二・岡澤慎一	特別支援教育専攻卒業論文	自身の関心、問題意識に基づいて、研究テーマを設定し、自らの問いに答えを出す作業を行う。	特別支援教育専攻の必修専門科目として、特別支援学校教員および特別支援教育に必要な資質のいっそうの開発を意図しながら、受講生の関心に基づいて設定された研究テーマに応じて指導する。	自身の設定した問いに対して、自らが手に入れた事実に基づきながら、自身の答えを自分のことばで述べることができる。	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1
S100309	岡澤慎一・佐久間宏・池本喜代正・梅永雄二	特別支援教育基礎論	本授業では、主として初めて特別支援教育を学ぶ人を対象に、障害の捉え方、障害を有する子どもたちの発達特性と教育の基礎的な事項について概説し、特別支援教育についての基本的知識と関心を深めることを目的としている。	本授業は、これから特別支援教育の専門科目を学ぶための入門編となる内容であるとともに、特別支援学校での介護等体験に参加する学生にとっては、障害を有する子どもたちに対する基本的な理解を深めるための事前指導(事後指導)となるように留意しているものである。	障害の捉え方、障害を有する子どもたちの特性と教育の基礎的な事項について説明することができる。	0.5	0.3	0.1	0.0	0.1